

# そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 5

2023年8月29日発行

8月の聖句

『キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい』

(コロサイの信徒へ手紙3章15節より)

わたしは、教会の司祭でありながら、心配ごとや、悩みごとに支配されがちです。そして、とりわけ時間に支配されがちなのです。デジタル社会について行けず、適応できず、不安や不満のマグマを蓄えております。老化もあります。ストレスから体調も思わしくありません。

こんなわたしに、ある園児が「おはよう チャプレン！」って声をかけてくれたのです。笑顔いっぱい。笑顔ゆえにわたしも笑顔が引き出されたのでした。

わたしは、この園児から「平和」をいただきました。神からのメッセージは、実にシンプルかつストレートに、小さな存在を通して届けられるのでした。

チャプレン 司祭 池田亨

運動会を通して喜び合えますように

9月9日(土)の運動会にむけてリズムなどの練習がはじまりました。みんなそれぞれ個性が出てますよ。



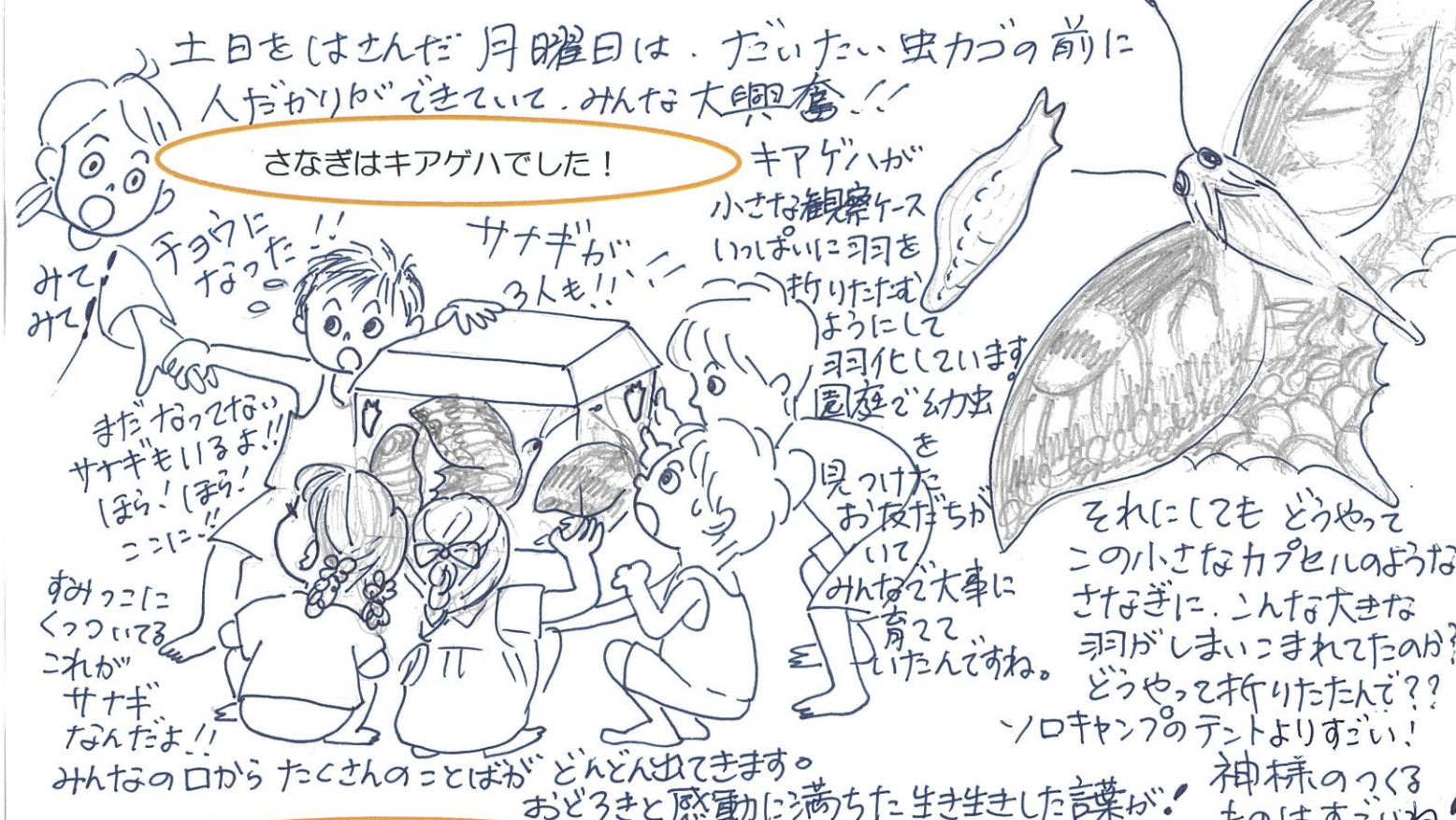
いろんな子がいるのは、多分社会にいろんな人が必要だからなんだろうね。全員おなじ反応ならいいです。今はじまったばかりの、はじめの集団生活なんですから。

先生の振りつけを見て大喜びでまねする子、何か(は)おたのかとびっくり、ホカーンとしている子、走って逃げ出す子、もじもじする子、絶対に踊らないぞとわたくしたつてる子...



「あの子にヒビてどうしてうちの子はできないの!？」と悲しんだり、かちが遅いと言った残念がたりしないで下さいね。元気に発表の場面で仁王立ちかしてかかった子。大きく成長して立派な職業人になった人を、何人も見て来ました。はじめの事をひとつひとつ体験してちゃんと成長してくれまあよ。

子どもにとって大好きな親が、残念がるのはとても辛いこと。元気なだけでいいから、先生方もいつも喜んで育てますよ。



さなきはキアゲハでした!

キアゲハが

小さな観察ケースにいっぱいに習子を折り紙で作るようにして、園庭で幼虫を育てていたんですね。みんなの口からたくさんのおどろきと感動に満ちた生き生きした言葉が、神様のつくったものはすごいね!

それにしてはどうやってこの小さなカブセルのようなさなきに、こんな大きな羽がしまいこまれてたの?! どうやって折りたたくたんで? ノロキャンのテントよりすごい!

みんなの手が届く高さによく熟した黒い実が、鈴なりになっていました。木の種類もいろいろで、食べ比べたり、大封筒を集めたり...

みんなの舌は紫色に染まっています。ちからいっぱい、たべまわって、おなかもいっぱい!! さわやか〜

せんせー、せんせー、おっきいあけろか? いらない?? あけるよ、あけるよ、まわって。

ブルーベリーに大喜び!



すてきな雑誌に載せてもらいましたよ!

今週は毎日本当に危険な暑さで、ハラハラしました。幸い、昨年度にホールと2階保育室にクーラーをつけて、今年も夏休み前に1階保育室とお昼寝の部屋にクーラーをつけてもらえたので、子どもたちは園庭に出さずに室内で遊ぶことができました。あと熱帯地域は、職員室と廊下を残すのみになりました。園庭に出られないなんて、初めての事ですね。ちょっと遅くなってしまいましたが、女性雑誌CREA(クレア)に園庭が紹介されたので、裏面に印刷します。この前の園庭づくりにも来てくださったジャーナリストの猪熊弘子先生の推薦だそうです。「聖十字の園庭は茶色い弁当のような園庭ですが大丈夫ですか?」と編集の方にお聞きしたら、「私も小さな子を育てていますが、毎日茶色い弁当ですよ。」とおっしゃっていたので、安心して載せてもらえました。また毎日、外で子どもたちが遊べますように...